

ぜんがくれん どう し だっかん  
全学連 6 同志奪還を

きょうだいはんせん だんあつゆる せんそう かいけん そ し あ べ たお  
京 大反戦ストへの弾圧許さず戦争・改憲阻止し安倍倒そう

かくきょうどうちゅうおうがくせい そ し き い いかい  
革 共 同 中 央 学 生 組 織 委 員 会

ぜんがくれんうんどう ぜんだい み もん だいだんあつ はら そこ いか だんがい  
全学連運動への前代未聞の大弾圧を腹の底からの怒りで弾劾する！

につていこつ か けんりよく けい し ちょうこうあん ぶ きょう と ふ けい がつ にち がつついたち  
日帝国家権 力、警視 庁 公安部、京 都府警などは 2 月 29 日から 3 月 1 日にか  
けて、全学連の斎藤郁真委員 長、京 都大学全学自治会同学会 作部羊平委員 長  
を始め、全学連の 6 人の同志を「威 力 業 務妨害」容疑で不当逮捕した。同時に、  
きょうだいぐま の りょう きょうだい ぶ しつ ぜんこく しよ か たくそうさく おこな どうがっ  
京 大熊野 寮や京 大サークル部室など全国 13 カ所に家宅搜索を 行 った。同学  
かいちゅうおうしっこう い いかい よ さくねん がつ にち きょうだいよし だ みなみ はん  
会 中 央 執 行 委 員 会 が 呼 び か け た 昨 年 10 月 27 日 の 京 大 吉 田 南 キ ャ ン パ ス で の 反  
せん  
戦バリケードストライキが「授 業 妨害」だというのだ。

げん ば たい ぼ だんあつ ぜんがくれんうんどうかいたい  
「ストの現場にただけで逮捕」という、デッチあげ弾圧と全学連運動解体—  
し どう ぶ かいめつこうげき だん ゆる ちょうせんしんりやくせんそう れき し て き せつぱく  
指導部壊滅攻撃を断じて許すことができない！ 朝 鮮 侵 略 戦 争 が 歴 史 的 に 切 迫  
なか につてい し はいかいきゅう あ べ せいけん ぜんたいじゅう はんせんとうそうあつさつこうげき ぜん  
する中での日帝支配階 級 と安倍政権の全体 重 をかけた反戦闘争圧殺攻撃を、全  
こく がくせい ろうどうしゃじんみん もうぜん だいはんげき う やぶ がつ い せ し ま ふんさい  
国 の 学 生 と 労 働 者 人 民 の 猛 然 た る 大 反 撃 で 打 ち 破 り、5 月 伊 勢 志 摩 サ ミ ッ ト 粉 碎  
ぜんこくだいがくはんせん せ の ぼ  
—全国大学反戦ゼネストへと攻め上ろう！

せんそうぜったいはんたい がくせいうんどう  
戦争絶対反対の学生運動を

だいいち こんかい だんあつ せんそうぜったいはんたい がくせいうんどう ぜったい みと  
第一に、今回の弾圧は「戦争絶対反対の学生運動など絶対に認められない！」  
という日帝国家権 力 の悲鳴だ。

さくねん きょうだい けつ き がつあん ぼ こっかい あ べ せいけん せんそうほうあんせいりつ きょうこう  
昨 年 の 京 大 バ リ ス ト 決 起 は、9 月 安 保 国 会 で 安 倍 政 権 が 戦 争 法 案 成 立 を 強 行  
したことに對する渾身 (こんしん) の反撃だった。そして 11・1 全国労働者 集 会

む ぜん せ かい たたか ろうどうしゃ がくせい たい かぎ こくさいれんたい けつ き  
 に向けての全世界の 闘 う労働者・学生に対する限りない国際連帯の決起だった。  
 しょうげき きょうだい ぜんこく かくだい せんそうきょうりょく せんそうどういん  
 その 衝 撃は京大のみならず全国に拡大するとともに、戦争協 力＝戦争動員に  
 つ すす だいがく きょういく ふ はい あば だ  
 突き進む大学・教育の腐敗を暴き出すものとなった。

とうじつ しゅうかい さいとう いんちょう さく べ いんちょう うった  
 スト当日のキャンパス 集 会で斎藤委員長 と作部委員長 は訴 えた。

「どうすれば安倍の戦争政治を止められるのか？ その答えはこのストライキ  
 なか せんそう あ べ かって せんそう じっさい にな  
 の中にあります。戦争は安倍が勝手にできるものではありません。戦争を実際に担  
 せんそう い わたし がくせい ろうどうしゃ のうみん へい し しゃかい  
 い戦争に行くのは、私 たち学生であり、労働者・農民であり兵士であり、この社会  
 ひと あ べ ほんとう ちから も  
 の 99 %の人たちです。安倍にストライキはできません。本当に 力 を持っている  
 だれ こんにち せんたんてき しめ たん しゅだん  
 のは誰か、今日のストはそれを先端的に示しました。ストは単なる手段ではあり  
 じ たい しゃかい しゅじんこう だれ もくてき  
 ません。スト自体が、社会の主人公が誰なのかをはっきりさせる目的をもってい  
 なか わたし み らい あたら しゃかい か のうせい さいとう いんちょう  
 ます。その中に 私 たちの未来、新 しい社会の可能性があります」(斎藤委員長)

「本日のストで示したように私 たち自身の 力 で大学の機能を止めることはま  
 か のう しゅくしゅく じゅぎょう う たん い と そつぎょう さき なん み らい  
 ったく可能です。肅 々と授 業 を受けて単位を取って卒業 した先に何の未来が  
 しゅうしよく ひ せい き かえ じ えいたい  
 あるのか。就 職 できない、非正規になる、そして『カネを返せなければ自衛隊  
 い げんじつ たい わたし かいとう こんにち  
 に行け』と。この現実に対する 私 たちの回答が今日のバリストです。このスト  
 ぜんこく ぜん せ かい かくだい さく べ いんちょう  
 ライキを全国・全世界に拡大しよう！」(作部委員長)

さいとう いんちょう ことし か だい ち へい きょう か ぜんこく だいがく かい  
 そして斎藤委員長 は、「今年の課題は、この地平を 強 化し、全国の大学で改  
 けん そ し ちょうせんしんりやくせんそう そ し じつげん ほん し しんねんごう ぜん  
 憲阻止・朝 鮮侵 略 戦争阻止のゼネストを実現することです」(本紙新年号・全  
 がくれん ざ だんかい たか せんげん  
 学連座談会) と高らかに宣言した。

にってい あ べ せいけん がんめんそうはく にってい  
 日帝・安倍政権はこれに顔面蒼白 (そうはく) となった。日帝ブルジョアジ  
 かいけん きょうこう ちょうせんしんりやくせんそう ぜんめんさんせん たい  
 は改憲を 強 行して朝 鮮侵 略 戦争に全面参戦しようとしている。しかしそれに対  
 ぜんこく しよく ば あらし はんせん ばくはつ せんそう  
 して全国のキャンパス・職 場から嵐 のような反戦ストが爆発したとき戦争など  
 いちびょう けいぞく せんそうぜったいはんたい ちょうへいせい そ し がくせいうんどう  
 一 秒 たりとも継続できない。「戦争絶対反対！ 徹 兵制阻止！」の学生運動の

歴史的爆発の現実性に安倍政権は震え上がっている。

京大史上初の告訴に踏みきった京都大学当局・山極寿一総長体制を徹底弾劾する！ ついに京大当局は日帝国家権力と心身ともに一体化し、学生運動つぶしの先兵となるまでに腐敗・転落した。

戦争と原発を止め、新自由主義大学を覆すために2012年6月に京大同学会は再建された。以来、反原発闘争と反戦闘争の先頭で闘い、一昨年11月にはキャンパス内に潜り込んだ京都府警の公安刑事を摘発してたたき出した。昨年の安保国会決戦への同学会の登場は、闘う労働者人民に勇気と展望を与えた。

他方で京大当局は、同学会のもとへの京大生の団結に恐怖して敵視し、学生自治解体・反戦運動圧殺に血道を上げてきた。そして最後は「ストライキは授業妨害だ」などとわめきながら国家権力の懷に飛び込み、闘う京大生を売り渡し、帝国主義戦争の先棒担ぎとなったのだ。

今こそ安倍政権とともに山極総長体制を打ち倒すときだ！

革命情勢に焦る日帝・安倍

第二に、「戦争か革命か」の情勢がますます煮詰まる中、安倍政権は労働者人民の激しい怒りに包囲され、グラグラになり、戦争と治安弾圧に絶望的にのめり込んでいる。京大反戦スト弾圧との闘いはその最先端だ。

世界大恐慌は「中東・ウクライナ・東アジア」を三大焦点とする世界的大な戦争情勢を生み出し、帝国主義国・大国同士の市場・資源・勢力圏をかけた争奪戦が、戦争的激突も含みながら進行している。世界同時株安は進行し、日銀・黒田のマイナス金利政策は大破産し、アベノミクスは崩壊している。この中で追

い詰められた日本帝国主義は、一方における戦争、他方における首切り＝大失業、  
外注化・民営化・非正規職化、そして労働者階級の団結破壊に唯一の延命の道  
を見いだそうとしている。

しかし、社会に渦巻く怒りは爆発寸前だ。安倍の「株式投機で年金基金が損失  
をこうむったら給付を減らせればいい」なる大暴言は、もはや帝国主義・新自由  
主義を打倒する革命をやり、すべての生産手段と労働そのものを労働者人民の手  
に奪い返さない限り、生きる道はないことを突き出している。韓国・民主労総は  
すでに、ゼネストでパククネ政権打倒へ進撃している。

勝利の道は、動労総連合の全国的建設を基軸にした国鉄決戦の爆発、5月伊  
勢志摩サミット粉碎、7月選挙決戦にある。安倍はサミットと7月参院選（ダブ  
ル選）で階級支配の危機をのりきろうとしているが、思い通りになると思った  
ら大間違いだ。反合理化・運転保安闘争と被曝労働拒否闘争を先頭に階級的労  
働運動が力強く前進し、福島原発大事故から5周年を迎えた3・11福島闘争へ  
のうねりは拡大している。

とくに、斎藤郁真全学連委員長が300万学生と2千万青年労働者の怒りを  
体現して、鈴木たつお弁護士とともに7月ダブル選への出馬を決意したことは  
決定的だ。支配階級はこの決断に根底的打撃を受けている。

今こそ、16年決戦の爆発をかけて6同志奪還闘争へ総決起しよう。

弾圧粉碎し全国学生ストへ

第三に、未曾有（みぞう）の弾圧を粉碎し、6同志を取り戻すことは必ずで  
きる！ 団結を打ち固め、キャンパス・職場・街頭から巨大な反撃をたたきつ

けよう。6 同志は怒りに燃え、断固として完全黙秘・非転向の闘いを貫徹している。

昨年 9 ～ 10 月、警視庁公安部は福島大学でのスパイ摘発の勝利を口実として学生運動の指導的 4 同志を「監禁致傷」容疑でデッチあげ逮捕したが、そのあまりの不正義性とでたらめ性への大衆的怒りが爆発し、4 同志は不起訴奪還された。権力のもくろみはあえなく破産した。そして京大生と全学連は、その天をも衝（つ）くような勝利感をもって 10・27 京大バリストを打ち抜いた。全国学生運動と階級的労働運動は、15 ～ 16 年にあらゆる治安弾圧をはね返し勝利してきている。

京大スト弾圧もまた、「反戦ストライキ＝授業妨害」という、そのあまりの内容の空疎さと反動性ゆえに、帝国主義戦争とそれにくみする大学当局への激しい怒りを全国・全人民的に呼び起こし、必ずや粉碎される。逆に、改憲絶対反対・戦争絶対阻止の全国学生スト決起の突破口となっていく。墓穴を掘ったのは安倍政権であり、京大・山極体制だ！

獄中 6 同志と固く団結して反撃に立ち上がり、弾圧を粉碎しよう！ 3・11 福島闘争に総決起しよう！ マルクス主義学生同盟中核派に結集し、ともに闘おう！